

# 和貴会緣 起

我が国に於ける社会福祉 事業は遠く聖徳太子の御

深くその運営理念にいたく 感銘を受け幾多の御教示

を賜わりたり

事績に遡る

高齢者福祉事業の創設に

あたり法人名施設名を聖

徳太子の憲法十七条第一条

「以和為貴」に因る事に思ひ

至れり

社会福祉法人四天王寺福

矢と言はれその事業は今日

年)せられたる悲田院が嚆

ため難波に創建(五九三

太子の貧窮者病者救済の

祉事業団へと継承さるると 依りて是が名称使用につき

師の御裁可を得法人名を 四天王寺管長出口常順老

「以和貴会」施設名を「以和

りしとき同事業団との交り

西丸は嘗て大阪府吏員た

ころなり

の意を表するものなり り茲にその由来を記し感謝 法人設立三十周年に当た 貴苑」と称するを得たり

平成二十六年四月吉日 社会福祉法人以和貴会 理事長 西丸重晴



#### 目次

沿革
組織図
資格者数
<b>ごあいさつ</b>
8~36
事業所紹介
法人概要38
特別養護老人ホーム以和貴苑40
短期入所生活介護事業所以和貴苑41
介護付有料老人ホーム秋桜苑48
住宅型有料老人ホーム年輪52
小規模多機能型居宅介護年輪54
老人グループホームけやき58
老人グループホームさくら通62
デイサービスセンター以和貴苑66
デイサービスセンターさくら通70
以和貴苑居宅介護支援事業所74
鹿屋市東部地区地域包括支援サブセンター75
以和貴苑訪問介護事業所78
以和貴会訪問介護員養成事業所82
鹿屋市生活支援ハウスさくら通84
関連施設リハビリ強化型デイサービスさくらんぼ86
資料
年表90

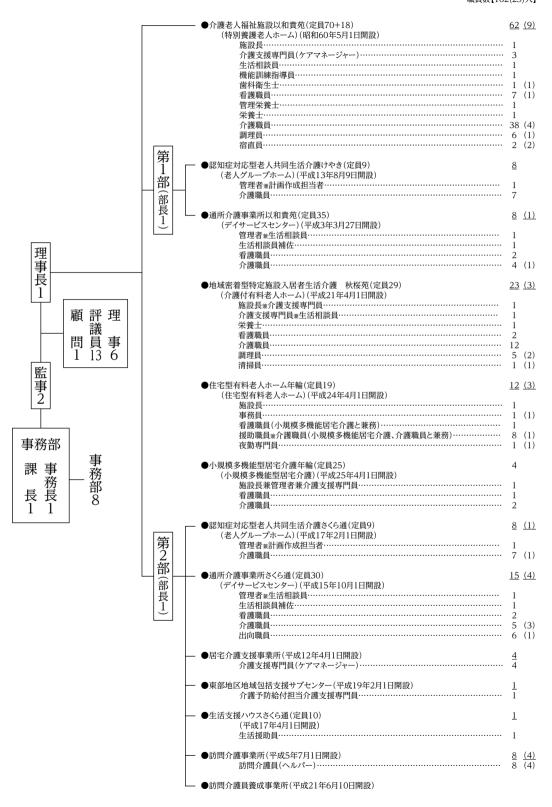
#### 社会福祉法人の沿革等

(ふりがな)		な)	Į,	わ	き かい	,	(چ)	)がな)	にし	 まる	しげ じ	 よる	
社会福祉		祉	以	和	貴会		代表	者氏名	西西	丸			4年8月14日)
法人名主たる事務			鹿児島県鹿屋市串良町細山田5902-3			(就任年月日) 資産総額		Н		土 成24年度	••	940,937,605円	
主にる事務 所の所在地			鹿元島宗庭座中中民町和山田5902-3 (元0 <u>9</u> 94-62-2430)				資産総額変更登記			T		企 5年5月27日	940,937,003
認可年月 日·番号			昭和 59年7月20日 第541号				設立登	設立登記年月日 昭和 59年8月13日					
			S58.4.4 特別養護老人ホーム設置要望書提出					H5.7.1 ホームヘルパー運営事業				開苑	
			S59.2.3 59年度老人福祉施設整備協議書				H13.8.9		老人グループホームけやき			開苑	
			S59.6.1 同上内示					H15.10.1 デイサービスセンターさくら			5通	開苑	
	法人		S59.7.20 社会福祉法人 以和貴会設立					H17.2.1	老人グル	老人グループホームさくら通			開苑
	の沿		S59.8.13 同上法人 登記					H17.4.1	7.4.1 生活支援ハウスさくら通				開苑
	革		S59.8.26 特別著		H21.4.1				<b></b>	開苑			
	法人の沿革運営方針		S60.4.6 同上		H21.8.1 訪問介護員養成研修2級課程				開苑				
	針		S60.4.30 同上		H24.4.1	住宅型有料老人ホーム年輪				開苑			
				860.5.1 同上 開苑				H25.1.1 社会福祉法人以和貴				開苑	
			H3.3.27 デイサービスセンター以和貴					H25.4.1	小規模多機能型居宅介護年輪				開苑
	Г			<b>↑護支援</b>	センター	1	開苑	H25.4.1			1	理業務受託事業	開始
		44:	施設種別		名 称	所	在	地	施設	長名	定員	職員数	事業開始年月日
		第 1 種	特別養護老人ホーム		以和貴苑	鹿児島県角 5902-3	屋市串良	町細山田	西丸	.重晴	50	59	S60. 5. 1
			デイサービスセンタ	7-	以和貴苑	"				"	35	9	Н 3. 3.27
			在宅介護支援センター		"	鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3103-2				,		4	H 5. 4. 1
	社会		ホームヘルパー		"	//				,		11	H 5. 7. 1
	福祉	第 2	短期入所生活介護 以和貴苑 老人グループホーム け や き デイサービスセンター さくら通		以和貴苑	鹿児島県鹿屋市串良町細山田 5902-3			西丸	.重晴	19	特養と同じ	H12. 2.25
	事業	2 種			けやき					"	9	8	H13. 8. 9
法					"			"	30	10	H15.10. 1		
人の			老人グループホー	4	"		"			"	9	8	H17. 2. 1
行う			生活支援ハウス 小規模多機能型居	ı.e.	"	毎旧食用魚	/ 5日本中白	町下小盾		"	10	1	H17. 4. 1
う事業			介護事業所 年 幅 3105-2			屋市串良町下小原		堀之内美代子 25		14 H25. 4. 1			
			事業の内容			事業の実施理由			事業の実施年月日			納税の有無	
	公益事業		居宅介護支援事業			介護保険法に基づく			昭平12年4月1日			有( )円無	
							<b>隻保険法に基づく</b>		昭(平)21年4月1日		有( )円無		
			訪問介護員養成研修2級課程				介護保険法に基づく			21年8月		有( )円無	
			住宅型有料老人ホーム			介護保険法に基づく			昭(平)24年4月1日			有( )円無	
	1 1	又益事業	不動産賃貸事業						昭(平)25年1月1日		有( )円無		
	_		調理業務受託事業						昭(平)25年4月1日			有( )円無	
	70	の他	T-0.4/7.4/11 (-)					有(				有(	)円(無
	亩		平成24年4月1日 (主な変更内容) 条文整理 平成24年4月17日第4号認可										
	(直近2年以内のも) 定款変更の状況		平成24年5月26日 (主な変更内容) 基本財産の増加										
			平成24年8月10日 (主な変更内容) 基本財産の増加										
			平成25年1月1日 (主な変更内容) 収益事業の追加 平成25年1月11日第679号認可									,	
も況 の の			平成25年4月1日 (主な変更内容) 基本財産の増加 平成25年3月28日第968号認可 事業の追加 平成25年3月28日第51号認可									1号認可	
L			平成25年6月1日 (主な変更内容) 基本財産の増				加 基本則	□ 基本財産の減少 所轄庁の変更 平成25年6月12日第590号認可					
(注)1「法人の沿革 欄には、法人の設立や事業開始等を記載すること。													

<sup>(</sup>注) 1 「法人の沿革」欄には、法人の設立や事業開始等を記載すること。 2 「法人の行う事業の納稅の有無」欄については、当該事業に関し納稅した法人稅、事業稅及び住民稅の額を記入すること。

#### 社会福祉法人 以和貴会 組織図

(平成 26年6月1日現在) 職員数【162(25)人】



#### 以 和 貴 会 の 資 格 者 数

H26.4.1現在

(人)

資 格 名	人 数	資 格 名	人数
福祉施設士	1	上級救命講習	6
理学療法士	2	介護職員基礎研修	3
作業療法士	1	介護職員初任者研修	10
社会福祉士	5	あん摩·マッサージ·指圧師	1
精神保健福祉士	2	はり師	1
介護福祉士	48	きゅう師	1
主任介護支援専門員	3	認知症ケア指導管理士	1
介護支援専門員	18	歯科衛生士	1
社会福祉主事	11	管理調理士	1
管理栄養士	1	調理師	8
栄養士	2	予防医学リンパ健康セラピスト	2
フードスペシャリスト	1	福祉住環境コーディネーター	2
看護師	7	レクリエーションインストラクター	2
准看護師	13	第一種安全衛生管理者	1
1級ヘルパー	15	第二種安全衛生管理者	2
2級ヘルパー	64	簿記1級	6
スキンヘルパー	1	簿記2級	1
難病患者等ホームヘルパー	2	日商簿記2級	2
ガイドヘルパー	1		
普通救命講習I	104	合 計	353

<sup>(1)</sup>人数は重複があります。

<sup>(2)</sup>資格は高齢者福祉に関係するもののみ。



細山田本部



下小原本部

## 顧みること30年



社会福祉法人 以和貴会 理事長 西丸重晴



<sup>初代理事長</sup> 福元友治氏

光陰矢の如し。

早いもので法人創立30周年を迎えます。

私が高齢者福祉事業を企図した当時は、大阪府に奉職し、民生部老人福祉課施設指導係長の任にありました。

業務は、府下の各種老人ホーム (養護、特別養護、軽費) 百数十ヶ所の運営指導です。 大阪府は商売の街であり、人々の朝夕の挨拶は「儲かりまっか」であることは、ご存知 のとおりです。利に聡い土地柄で、福祉事業もともすれば、利潤追求に陥り勝ちで、社 会福祉法人の公益性を忘れ、投資した土地、資金による利益追求に堕し、本来の入所 老人の処遇向上が等閑にされる事例が多く、社会福祉事業法から逸脱することが多く見 られました。そのような経営者の姿を見るうち、自分が経営者であればとの老人処遇の 理想像が募っていきました。そして、定年(当時は55歳)後には、故郷、鹿児島での高 齢者福祉施設の経営を夢見ておりました。

当時の県内の高齢者福祉施設の状況は、若者の都市部への流出による人口密度の希薄さや高齢者の一人世帯や夫婦世帯の多さが特徴的で、特養の規模も小規模施設(50人定員)が数多く必要とされる等の地域の特性が分かりました。一方、特養開設申請者数は100人余りで私も昭和58年4月に設置申請しましたが、実現には10年位を要するものと予想しておりました。

ところが約1年後の昭和59年3月頃、串良町内での施設整備の打診がありました。 聞くところによると、前順位者が辞退したとのことでした。当時、県老人福祉課では特 養の設置は一市町村一施設の開設との方針があり、申請していた高山町(現肝付町)内 には既設のホームがあったためでした。しかし設置申請して1年余りのことでもあり建設 用地や建設費用の自己資金の目途もなく茫然自失の状態でした。

一方、この機会を逃すと次回は何時のことかも不明であり妻と悩みましたが、少々の蓄 えと退職金を当てに受諾する決断をしました。 社会福祉法人の設立申請から建設用地の取得、施設の設計計画等大阪府に在籍しながら行い、昭和59年8月には法人登記を完了し、60年5月1日には施設を開苑することができました。施設建設中の59年11月には完成を見ることなく父が逝去しました。

なお、設立当初は、私が 42 歳と若輩なため、法人設立から約 10 年間は今は亡き叔父の福元友治氏に理事長職をお願いし、私は施設長職に就任しました。

また、法人名、施設名命名の由来については本誌扉に揚げたとおりです。

この間、施設開設当時は全国共通の厚生省基準という措置制度であり、運営基準等は熟知しており施設運営には全く不安もなく、素人集団の職員を叱咤激励して直ちに運営を軌道に乗せました。平成12年には介護保険法への移行等がありましたが、社会福祉事業法の本質には変わりなく、順調に推移してまいりました。

私共以和貴会は、開苑当初から申良地域の高齢者福祉の拠点として「高齢者総合福祉センター」の役割を果すことを目標に業務展開し、ほぼ構想どおり、進展してまいりました。

ここまでの道程には、役職員の日夜をわかたぬ一致団結した努力は勿論ですが、県、市、町の行政や民生委員、各種ボランティアの方々を始めとする地域の皆様方のご協力、ご支援を抜きにはなし得なかったでしょう。特に、当時の申良町民生総務の故曽木敦夫先生のご助力無くしては今日の以和貴会の発展は語れません。改めて心より感謝申し上げます。

本年4月には、特養定員20床増(定員70名)が完成したことと併せ、懸案の「看取り介護」への新たな取り組みを行っております。

今後も約20年間は高齢者社会が続きます。私共役職員一同はなお一層の質の高いサービス提供と地域福祉の向上に努めてまいりますので、関係の皆様方の更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

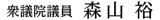


 後段▲
 理事兼評議員
 評議員
 理事
 監事
 評議員
 評議員
 理事長

 今村
 光春
 福園
 芳信
 浮牟田
 冨雄
 稲田
 吉祥
 田畑
 和矢
 落水田
 渉
 西丸
 重晴

前段▼ 注 前段▼ 末吉 良夫 日高 一男 的場 孝男 吉ヶ崎 ちり子 大塚 ルミ子

## 祝辞





社会福祉法人以和貴会創立30周年を心からお慶び申し上げます。

創立された昭和59年は、奇しくもわが国が長寿世界一になった年でした。また、大相撲で若島津が3月場所に続いて7月場所でも優勝した年でした。以来、わが国は国民皆保険制度や高齢者に対する医療制度の充実、さらには国民全体の健康に関する知識や関心の高さにより、世界のトップレベルの長寿国として進展を続けており、平成24(2012)年の平均寿命は女性86.41歳、男性79.94歳であります。

社会福祉法人以和貴会におかれましては、30年間、社会福祉事業として特別養護老人ホーム、訪問介護事業所、認知症老人グループホーム、デイサービスセンター、生活支援ハウス及び小規模多機能型居宅介護事業所を、さらには公益事業として居宅介護支援事業所、介護付き有料老人ホーム及び住宅型有料老人ホームをそれぞれ開設され、地域福祉の向上に寄与してこられました。理事長をはじめ役職員各位の献身的なご努力に深甚なる敬意を表します。

今後とも高齢者の皆様が地域社会で安心して生活していくことのできる施設として、さらなる発展をされますようご期待申し上げます。

# 社会福祉法人以和貴会 創立30周年に当たって

#### 鹿児島県知事 伊藤祐一郎



社会福祉法人以和貴会の創立30周年を心からお喜び申し上げます。

社会福祉法人以和貴会におかれましては、昭和59年の創立以来、「和を以て貴しと為す」を基本理念に、特別養護老人ホーム以和貴苑やデイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、介護付き有料老人ホームなど各種の介護保険事業の運営を展開し、地域における高齢者福祉の向上に大きく寄与されており、このたび、創立30周年という節目の年を迎えられました。

これもひとえに、西丸理事長をはじめ役員、施設長、職員等関係の皆様のご熱意とご 努力のたまものであり、これまでの取り組みに対し、深く敬意を表します。

さて、本県では、高齢化の進行とともに、高齢単身世帯・高齢夫婦世帯や認知症高齢者が増加する中で、超高齢社会への対応が重要な課題となっております。

このような状況を踏まえ、県では、「心豊かで活力ある長寿社会」を目指し、平成 24 年 3 月に「鹿児島すこやか長寿プラン 2012」を策定し、市町村や関係団体、地域の方々と連携を図りながら、高齢者のニーズに応じた介護サービス基盤の整備、高齢者の社会参加や健康づくり・介護予防、更には認知症対策、人材育成・確保といった各般の施策を積極的に推進し、高齢者が住みなれた地域で、すこやかで安心して暮らせる地域社会づくりに努めているところです。

高齢者を支える地域の拠点として高齢者福祉施設が果たす役割は、ますます重要なものとなってきております。

社会福祉法人以和貴会におかれましては、今後とも、きめ細かな福祉サービスの提供に努めていただき、地域社会にとってかけがえのない施設として、更に充実・発展されますよう期待しております。

終わりに、社会福祉法人以和貴会のますますのご発展と、皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたします。

# 社会福祉法人以和貴会 創立30年によせて





社会福祉法人以和貴会が、創立30年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。 貴法人におかれましては、昭和60年5月に特別養護老人ホーム以和貴苑を開設して 以来、デイサービスセンターやグループホーム等、数多くの高齢者施設、介護サービス 事業所を整備され、30年という長きにわたり地域福祉を積極的に担っていただいてまい りました。

現在、主に串良地域における福祉の中核的な存在として益々ご発展を続けておられますことは、法人の基本理念と使命感を活動の根底とした、理事長をはじめ、職員の皆様方、関係各位の並々ならぬ熱意とご尽力の賜であり、深く敬意を表するものでございます。

さて、わが国においては、2025年に約800万人と言われる団塊の世代が後期高齢者になり、「後期高齢者2,000万人社会」が到来すると予測されています。約5人に1人が75歳以上という社会においては、公的な社会保障制度のみで高齢者の生活を支えることは困難であり、お互いに支え合う地域づくりということがこれまで以上に必要となってきます。このことから、「できる限り住み慣れた地域で、最後まで尊厳をもって自分らしい生活を送りながら老いていきたい」という多くの人々に共通する願いを実現していくために、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を急がなければなりません。

本市におきましても、市民の皆さまがいつまでも暮らし続けていきたい、暮らし続けて良かったと感じていただけるように、全力で地域づくりに取り組んでまいりますが、貴法人の長年培われてきた地域福祉に関する豊富な経験や実績も、この地域包括ケアシステム構築の一翼を担う重要な社会資源でありますことから、今後も本市の福祉増進のため一層のご尽力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。結びに、創立 30 年を契機に、社会福祉法人以和貴会が、今後益々ご発展されますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 以和貴会創立30周年おめでとうございます

社会福祉法人四天王寺福祉事業団 常務理事 坂本峰 德

今年、大阪夏の陣 400 年で盛り上がっている大阪城の隣に大阪府庁があります。西 丸重晴理事長はかつて大阪府に奉職しておられ、福祉部にて四天王寺福祉事業団常務 理事・四天王寺悲田院院長であった私の父、坂本徳雄と出会われました。

二人の親交は厚く、理事長が社会福祉法人設立を思い立たれた折も父はお手伝いさせていただいたと聞いております。その社会福祉法人と施設は理事長の強い御希望により四天王寺管長であった出口常順猊下の裁可を得て以和貴会並びに以和貴苑と名付けられることとなり昭和59年8月13日設立されました。

「以和貴」の名前は聖徳太子の十七条憲法第一条、「一に曰く 和を以て貴しと為し・・・」に由来します。大阪夏の陣を遡ることさらに一千有余年、推古元年に聖徳太子は日本を豊かで安心して暮らせる国にするべく摂政となられました。その年に四天王寺が建立され、寺の北に、薬を分け与える施薬院、病を得た人を治療する療病院、寄る辺のない人を扶ける悲田院が設置されたと伝えられています。寺自体も仏教による人材育成を行う敬田院とし、合わせて四箇院の制と呼ばれ、我が国最初の社会福祉事業とされています。

縁あって「以和貴」の名を冠された社会福祉法人以和貴会がこの度、創立 30 周年を迎えられるにあたり理事長始め関係者の皆様のご苦労とご努力を慮り深い敬意を表するとともに、心よりお慶び申し上げます。わが父と出口猊下も泉下よりきっと祝福、応援してくれているものと確信しております。今後も益々ご健勝、ご活躍され、聖徳太子の御加護のあらんことを祈念しております。

### 以和貴会創立30周年に寄せて

鹿屋市社会福祉協議会 会長 浜田 保

社会福祉法人以和貴会創立 30 周年にあたり心からお祝い申し上げます。

以和貴会におかれましては、昭和59年、市内には未だ高齢者の受け入れ施設が少な く現在のような介護保険の制度も充実していない時期に創立され、特別養護老人ホーム 以和貴苑をはじめとする高齢者保健福祉施設を、地域の要請に基づき次々に開設し永年 施設入所者並びに地域住民の福祉向上に多大な貢献をされてまいりました。

これもひとえに西丸理事長の高齢者福祉に対する情熱と関係役職員の皆様方の弛まぬご努力の賜と深く敬意を表します。

以和貴会におかれましては、当会の事業推進につきましても、これまで多大なご理解 とご支援をいただいております。

中でも高校生を対象に夏休み期間中に実施いたしますボランティアスクールにおきましては、職員の皆様方に多大なご苦労をおかけするにもかかわらず、毎年積極的に受け入れていただいております。

また、施設内でのボランティア活動希望者を随時受け入れていただくなど当会が推進 するボランティアの養成や研修においても多大なご協力をいただいているところでありま す。これらのご支援に対し心から感謝申し上げます。

社会構造の変化に伴い「地域包括ケアシステム」の構築や「自立支援型サービス」など社会保障と税の一体改革をにらんだ介護保険制度の改正や年金制度の改正など高齢者を取り巻く環境が激変する中、今後施設経営においても厳しい状況が予想されますが、これまで培われた地域とのつながりを更に深められ高齢者福祉の一翼を担う基幹的な施設の経営母体として、これからも地域の皆様方に親しまれる施設経営に努められますことを心からご期待申し上げます。

創立 30 年を新たな契機とされ社会福祉法人以和貴会のますますのご発展をご祈念申 し上げます。

### 創立30周年を祝して

鹿屋市保健福祉 部長 徳留浩二

社会福祉法人以和貴会が創立 30 周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

昭和59年に設立されて以来、長年にわたって地域福祉向上のためにご尽力をされてこられました理事長、役員の方々をはじめ、施設長や職員の皆様方が熱意を持って運営にあたられ、ここに30年の歴史を刻まれたことに深く敬意を表するものでございます。

一口に30周年と申しましても、その歩みの中には、幾多の喜びや困難があったことと存じますが、貴会のご努力によりまして、鹿屋市になくてはならない施設として、利用者やご家族から大変喜ばれていると察します。

貴会の基本理念でもあります「和を以て貴しと為す」聖徳太子 1,400 年間の歴史の重みを感じさせますが、現代の私たちも謙虚に耳を傾けるべき貴重な教訓であります。

この理念に沿って、人権尊重を大切に利用者の立場を理解し、公正・公平なサービスの実現に日々努められ「しあわせ」「ゆたかさ」を追求していただいています。

「辛い」という文字は一筆加えますと「幸せ」という文字になります。高齢者の人生には辛いことも多々あったことと思いますが、施設利用者の方が晩節には幸せを享受していただきたいと願っています。

最近、気になる言葉がありましたので、ご紹介します。「心のよい人」になるうえで重要なのは笑顔であり、人間関係をつくり、育てていくのはすべて"笑顔"からなのです。」と書いてありました。

認知症になり、自分の思いを伝えられなくても、この「笑顔」だけは、視覚で認識できる言語です。このことは、相手を好意的に思うにも笑顔が必要です。すなわち滝川クリステルさんの笑顔の「おもてなしの心」と言うことではないでしょうか。

さて、平成 12 年に導入された介護保険制度も、軽度者の介護予防サービスの見直しなど大きな変革の時期を迎えようとしておりますが、本市におきましては「地域で支えあう健やかで心のかようまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる社会をつくるために、これまで以上に、 貴会の長年培われた豊富な経験や実績が必要不可欠であり、今後とも、鹿屋市の地域 福祉の中核としてご尽力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### お祝いの言葉

亀山睦子

社会福祉法人以和貴会創立 30 周年おめでとうございます。串良町はもとより地域の福祉サービス発展につきましては中心的な支えをいただいて参りました。

30年前特別養護老人ホーム以和貴苑開苑当時を振り返ってみますと、福祉というその言葉すら、まだ興味薄い時代だったように思われます。以和貴会におかれましては、逐次、施設福祉、在宅福祉に亘り活動の幅を広げ展開してこられました。

現在では時代の変化、流れとともに高齢化社会―高齢者社会を迎えております。平成 12年介護保険法が施行されましたが、順次見直しがなされるなど福祉行政環境も大きく 変わり、目まぐるしい変革の時代となっています。

以和貴会におかれましても、以降、通所介護 (デイサービス)、老人グループホーム、 平成 15 年には新しくさくら通へと活動拠点を広げられ、地域住民のニーズを把握し連携 を密にしながら、利用者の相談、在宅の方々への支援の総合窓口として今では欠くことの できない存在となっております。

常に利用者への思いやりにあふれる支援をして下さっている役職員の方々、関係者の皆様、心から感謝申し上げますとともにすばらしい福祉という支援の根を更に強固なものにしていただきたいと思います。今後も引き続き以和貴会の、益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。

(元理事)

#### 30年を振り返って

事務課長 西丸悦子

以和貴会創立30周年、ご支援ありがとうございます。

思えば、私には社会福祉事業、特別養護老人ホームという言葉すらなじみの薄いものでしたが、以和貴苑開設にあたり、大阪の地で、特別養護老人ホームに入職し、事務、調理、介護の実習等を勉強させていただき、社会福祉主事の資格を取得し、特養以和貴苑では生活相談員を担当しました。

しかし、自分でやってみて、人を相手の介護の仕事がいかに大変なことかということが よく解かりました。

又、家庭では、当時中学生の子供達が鹿児島弁に大変苦労したようでしたが、それなりに福祉を勉強し、各種資格を取得、10余年間にわたり他施設での経験を経て、現在は職員として協力してくれていることをうれしく思っています。

今でこそ、職員 160 名という大所帯となりましたが、発足当初は、施設長(理事長) を含めて 23 名からのスタートでした。

開苑してまもなく、当時鹿児島県では、実施されていないデイサービス事業の在宅入 浴サービス事業を実施しました。

これには施設長を先頭に、全職員が一丸となり、送迎、入浴、介助等を行いましたが、 とても人手が足りるものではありませんでした。

ところが、ボランティアとして当時民生委員の女性部の方々が手伝って下さり、この事業が軌道に乗り、利用者に大変喜ばれました。

又、入所者の整髪には、東西申良理容組合の9名の有志の方々が理容ボランティアを申し出て下さり、この活動は現在も続いております。

この様に、以和貴会の現在があるのも、役職員を始め、関わって下さった地域住民の 方々のおかげと深く感謝申し上げます。

これからも微力ながら、以和貴会を盛り上げ、地域住民の方の拠り所としての施設にしていければと思っています。

# 以和貴会の開苑30周年 おめでとうございます

理事浮牟田冨雄

設立から現在までの苦労は並大抵の事ではなかったことと思います。

30年前から現在の高齢者社会を見据えた理事長の判断は、地域社会の支持を受けて、高齢者が安心して生活を送ることができる拠点作りの使命を信念として今大きく花開いてきました。これから高齢者社会には最も必要な施設です。

鹿屋市をみましても、65歳以上の高齢者は平成15年度23,500人が平成25年度には26,700人と10年間で3,200人の増加、高齢化率も市街地では20%台でありますが他は30%~40%台後半と拍車がかかっています。

以和貴会の各施設は高齢者の安らぐ場所として利用され、地域福祉の向上に大きく貢献されています。職員一人一人が誠意をもって研修に励み、専門性の向上に努め、利用者から愛される以和貴会として全員が連携しさらなる飛躍を祈念します。

### 以和貴会創立30周年に寄せて

理事的場孝男

以和貴会創立 30 周年おめでとうございます。以和貴会が基本理念に基づいて高齢者 の福祉向上に取り組んでこられたことに心より敬意を表します。

本格的な高齢化社会の進行とともに、今まで以和貴会は広大な敷地に特別養護老人ホームをはじめ、多くの福祉施設や福祉事業を展開され、地域や利用者の要望に応えられています。

鹿屋市内外に多数の入所希望待機者がありますが、私が平成18年8月に役員となった以降の7年間をみても、介護付有料老人ホーム秋桜苑、住宅型有料老人ホーム年輪、小規模多機能型居宅介護事業所年輪を設置され、待機者の入所緩和に寄与されています。さらに鹿屋市東部地区地域包括支援サブセンターや訪問介護養成所を開設され、大隅地区の拠点施設として地域の高齢者福祉に大きな貢献をされています。

去る12月まで鹿屋市最高齢の方が入所されており、今なお職員の方々の親身になった 介護とサービスで入所者様をはじめ地域の方々から大きな期待を寄せられています。また、 グランドゴルフ大会の開催、恒例の夏祭りは地区住民と深い絆をつくり皆さんから大変 喜ばれています。

今後日本の高齢化社会は社会全体が成熟期を迎え、精神的な満足感、心豊かな生活を目指して多様な福祉サービスが求められるようになると思いますが、私たちも利用者様とご家族様が安心できる施設となるよう微力ながら協力させて頂きます。

最後に職員の方々が働きやすい環境のもとで入所者様が快適に暮らせる総合施設として以和貴会が益々繁栄することを祈ります。

### 以和貴会創立30周年に寄せて

理事日高一男

旧串良町の北部にある外堀地区に老人ホームができるという話を聞いたのは 30 年ほど前のことでした。当時から将来の少子高齢化社会に対する問題点は色々提起されていました。それは働き手が少なくなって、年金の受給者だけが増えるといったような問題で、現在のような介護施設が必要になってくるとは、私たちには予測できませんでした。地区の住民も高齢者が一緒に生活する老人ホームができるくらいの認識しかありませんでした。

そして集落の中に立派な施設ができました。地区に大きな建物が無かったことから、 以和貴苑が地域の象徴となりました。

何よりも嬉しかったのは、この地で盛大な夏祭りが行われるようになったことでした。 現在は会場を変えて、申良のお祭り広場でさらに盛大に行われています。

日本は予測を上回る早さで少子高齢化が進みました。平成 12 年には介護保険制度が 導入され、その介護保険を利用して、在宅・入所等の支援を受けることができるように なりました。高齢者の介護は家でするのが普通でしたので、本人はもとより家族も助かっ ていると思います。市内にも色々な形の介護施設が急増しており、介護施設も質の時代 を迎えています。

以和貴会はこれまで西丸理事長を中心に、全職員が質の高い介護を目指し頑張ってこられました。現在も以和貴苑で介護支援サービスを受けたくて待機されている方が多数いらっしゃると聞いております。そういった方々に少しでも早く応えられるようにお願いいたします。

### 以和貴会創立30周年を祝して

評議員大塚ルミ子

社会福祉法人以和貴会創立 30 周年を心よりお慶び申し上げます。

特別養護老人ホーム以和貴苑の開設以来、高齢者福祉事業を永年にわたり展開され、地域社会に多大な貢献をされてこられたことに心から敬意を表します。

高齢者が生きがいを持って健康で安心した生活を送れるように願っています。また、介護の現場では、福祉サービスの内容や質が問われるようになり、入所者や利用者の視点に立ったサービスが求められています。その点、以和貴会ではサービスの方針が明確に示され、それが実践されています。職員研修等の人材育成にも力を注いでこられました。

そして、地域の高齢者のニーズに応え、新たな施設やサービスにも積極的に取り組んでおられます。このようなたゆまぬ努力により、利用者本人はもとよりその家族、および地域住民から厚い信頼が寄せられており、施設の有り難さは本当に計り知れないものがあります。

今後、高齢化が急速に進み介護問題はさらに深刻になっていき、介護施設はそのため の対策をしてますます大きな役割を担っていくと思います。

以和貴会でも時代の流れに対応し、さらに利用者に喜ばれる、温もりのあるサービス を提供していただきますよう祈念いたします。

### 多様な価値観

#### 評議員 末吉良夫

私も平成 26 年には、前期高齢者の仲間入りです。あっという間でした。今でも幼かった頃、自由奔放な生き方をしてきたころを鮮明に思い出しています。

高校時代、親の反対を無視して、九州一周のヒッチハイクをしました。10日もかけて。 現在、茶の間でテレビを観ていると実につまらない番組が多すぎると感じます。バラエ ティー番組では、人を愚弄して笑いを誘うようなものや、食物を無駄にするようなもの、 いじめを助長するようなものなどが溢れています。一方、「人生の楽園」という番組があ ります。人生半ばにして会社を辞め、本当にやりたかったことへ転身するという内容が多 くあります。見ていると、みなさん生き生きとしています。

人は、生き生きと暮らせることが最高の幸せだと思います。今、デイサービスセンターで高齢者や身体の不自由な方に接しています。日が経つに従い、お互いに理解し合い、心が通じて、仕事が楽しくなってきます。中には、私を待っていてくれる人もいます。朝夕のあいさつに、関心の多い話題を入れています。特に喜ばれるのは、一昔前の生活や行事、戦時中の出来事です。

現代とはまるで違う世界です。人生に幸せを感じ、社会の一員として生活できることが 大事だと思います。人には多様な価値観があり、目的をもって生きることが重要だと思っ ています。

### 創立30周年記念を祝して

評議員吉ヶ崎ちり子

この度、社会福祉法人以和貴会が創立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

以和貴会は、介護福祉事業が周りにまだまだ浸透していない時より、強い信念と素晴らしい理念のもと運営されてきました。西丸理事長を中心に、職員の皆様の地道なご努力で、地域の中核的役割を担う介護福祉施設として発展してきました。

老人漂流社会とも言われている今日、核家族の増加により、老々介護、高齢者の一人暮らし、介護サービスの拒否等問題が山積しています。そのような中、認知症を患っている方が全国で439万人(平成22年度現在)となり、福祉施設の役割が益々重要になってきています。私達も、先輩方が歩んで来られた道をたどって行き、いずれは介護される立場となります。介護が衣食住の充実に止まらず、一人一人の人格を尊重し、残された能力を最大限に生かされるものとなるよう願いたいです。

今後とも、社会福祉法人以和貴会が、各施設の特性を生かし、さらに素晴らしい介護福祉施設として飛躍発展されますとともに、役職員の皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

### 以和貴会30周年を記念して

評議員 田畑和矢

いつまで続く少子高齢化・・・永遠に続くかと思われるこの状況。創立 30 周年を迎えられ誠におめでとうございます。私は今年 8 月より評議員としてお手伝いしており、以和貴会の創立当初から今日に至る迄の苦労等を知る由もありませんが、当時の世の中の動きや自分達が過ごした時代を思い浮かべてみました。創立時は日本列島改造論等で、日本経済が急成長した時期でもありました(今の中国みたい)。当時は二十数年間続いた列島改造や全日空トリオ(児玉・小佐野・田中)の問題、大規模な交通網整備(高速道路、新幹線、本四架橋)等、建設ラッシュで華やかな時代でありました。我々も残業々の繰り返しで給料より残業代を多く貰っていました。又、公共事業でも本当に仕事を選べる時代でもありました。このようなすばらしい時代を過ごした自分達・・・。今日の年金生活ベッタリの日常は想像もしていませんでした。

我々の幼少の頃は、親の介護は全て家族が自宅で一緒に生活して見ていましたが、時代と共に大きく変化してきました。そのような経済発展の最中、今日の少子高齢化等見きわめた理事長を始め、職員の方々の先見の明は正にすばらしく感じられます。

現在、鹿児島県の高齢化率は全国で1位となっています。今後単身者の終活や遺品整理等の業務も必要となってくるのではと思います。又、2040年頃は全人口の3割を65歳以上が占めると予想されています故、今後の進む方向を考慮しつつ、以和貴会を盛り上げて頑張っていきたいと考えております。

### 地域に密着した以和貴会に

監事稲田吉祥

昭和 59 年社会福祉法人以和貴会開設以来ここ 30 年の間に地域の社会福祉法人として 14 もの事業の運営に従事されてきたことに敬意を表します。

私事で恐縮ですが、今は亡き母親の安否確認を兼ねて電話すると「元気だよ。明日は 以和貴苑のデイサービスに行くのだ」と弾んだ声が今も脳裏に残っています。今、民生 児童委員として地域の先輩老人と会話する折に 家族からも近くに以和貴苑の各施設があ り非常に救われている 、送迎等職員の対応も素晴らしい! と耳にすることがあり嬉しく 思っています。

この地域においても過疎と少子高齢化は急速に進行し、生活環境は非常に厳しい状況にあります。

人生誰しも老は訪れ、介護という人生行路は避けて通れません。

行政における対応も財政的に厳しいなかで地域における社会福祉法人以和貴会の役割 は非常に大きな存在です。

介護事業の他にも将来を見据えた広い視野のもとにヘルパー養成講座・学生の体験学習、児童・生徒との交流をはじめ春秋のグランドゴルフ大会、夏祭り、敬老祝賀会、ボランティア活動など数多くの地域社会の活性化に参画されています。

人間、経済的には満たされていても心の渇きが癒されて初めて幸福を感じると思います。

「長生きして良かった」と喜ばれる人生のお手伝いと「高齢者介護のことなら何でも 相談して下さい」のもと地域社会住民の総合社会福祉法人以和貴会のさらなるご活躍、 ご発展を祈念いたします。

### 祝創立30年! 更なる飛躍を

評議員 福園芳信

昭和59年の以和貴会創立以来30年、多くの高齢者福祉事業に順次取り組まれ、事業所数14箇所、職員総数160名の法人規模となられ、順調に推移されている、このことは以和貴会の名が示す通り、和を以って貴しと為すを実践されているからこそと敬意を表するところです。

さて、我が国は高齢化が世界に類を見ないスピードで進行しています。

人は年齢を重ねるにつれ病気がちになり、身体の動きが衰え日常生活に支障をきたすことが多くなってくる高齢期は、誰もが通過しなければならない関門です。また、高齢となってからの人生も長くなり、その長い人生の最期まで個人として尊厳を保つことが出来るようなサービスが不可欠となってきます。その最先端の事業を運営されている以和貴会には、これからも高齢者介護に尚一層の大きな期待が寄せられるところです。

私事ですが、私の母も住宅型有料老人ホーム年輪にお世話になっており、この頃、面会に行くといつも笑顔で出迎えてくれます。よっぽど居心地がいいのかと思うところで、これも職員の皆様の心温かい介護のお陰と感謝の気持ちで一杯です。

終わりに、以和貴会創立30年並びに法人の歩みを記録した記念誌の発行おめでとうございます。更なる飛躍を期待します。

## 創立30年を祝して

顧問曽原典男

社会福祉法人以和貴会創立30年に際しまして一言お祝いの言葉を述べさせて頂きます。

今考えますと、早や30年経過したのかと思いますが、老人ホームを建設されて落成式に参加したのがついこの前のような感じです。その間、大きな問題もなく現在に至ったということは役職員の一致協力と努力の賜と感じます。

大阪から帰郷された理事長一家には不安もあろうと思い、私が自分で出来ることは協力しようと考えて現在迄家族同様にお付き合いして参りました。

このように、公私に亘りお付き合いをしてまいりましたが、今後も出来る協力は身を惜しまず協力していきたいと思っております。

以和貴会の今後益々のご発展を祈念しまして、創立 30 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

(元法人監事)

# 「以和貴苑」創設30周年に 寄せて

鹿児島女子短期大学 教授 久永繁夫

先般、西丸理事長さんから「30 周年記念誌に投稿してほしい」との依頼をいただいた。 その瞬間「エ・・もう30 周年?」と思わず口走ってしまった。

故郷の串良町細山田に特別養護老人ホーム設置の要望書が出されているとの話を聞いたのは、県庁の老人障害福祉課に身を置き、主に身体障害者福祉と知的障害者分野の施設整備や国際障害者年関連の分野を担当していた時であった。当時、特別養護老人ホームは一町村一施設という県としての基本的な考え方もあり、「以和貴苑」は誕生の運びとなった。以来、今日まで時代と地域の福祉ニーズに対応して、ホームヘルパー派遣事業やグループホームの設置運営など順調な発展をされていることに、心からの敬意と感謝の気持ちで一杯である。

私的な事柄としては、今は亡き母が長年デイサービスの利用者としてお世話になった。 私の部屋には平成7年3月25日付けの「祝誕生日 いつまでもお元気で」(当時81歳) の色紙が飾ってある。時たま実家に泊まり朝デイサービスに行くとき見送りをしたことが 懐かしい。いつも職員さんに声をかけられバスに乗り込む際に「イタックッデネ・・気を ツケッもどれよ」と送迎バスに乗り込んでいく姿は、もう遠い昔のこととなってしまった。 今後とも時代に対応した貴法人及び関連施設の御発展を、心から御祈念申し上げます。

### 今後の御活躍を期待して

井ノ口まる代

「以和貴会」創立30周年おめでとうございます。

特別養護老人ホームの開設以来、地域住民の要望に応えて様々な事業を展開し、高齢者福祉の充実、介護者への支援、地域に於ける関係機関との連携に積極的に取り組んでこられた事を大変うれしく思っております。

高齢者福祉をとりまく環境は、介護保険制度のスタートを機に大きく変化しました。介護を要する高齢者が安心して生活し、介護者の負担も軽減させるサービスが幅広い人々に利用されるようになり、福祉サービスの利用に抵抗や偏見も薄らいできました。その一方で必要なサービスが必要な人に届かない実態も少なくありません。

以和貴苑での13年を含めて約20年余り高齢者福祉の関係施設で働いてきました。6年前から介護保険サービスの利用者の家族となりました。ケアマネジャーや施設のスタッフの方々には限りある時間と制度の中にあっても利用者に寄り添い、気持ちのこもった対応をしていただいています。

福祉の現場で働いておられるスタッフの皆様には、心身の健康を維持し、誇りを持って仕事を続けていただきたいと願っております。笑顔で接していただく事が何よりの安心です。

地方には都会にない優れた利点があると思います。民生委員をはじめ地域の人々との 連携や地域ぐるみの支えあいなどにより、新たな取り組みもうまれることでしょう。

地域の皆様の要望に応えて、以和貴会の更なる発展と職員の皆様方のご活躍を期待しております。

(初代 生活指導員)

### 創立30周年を祝して

株式会社 福満設計 代表取締役 福満哲 七

社会福祉法人以和貴会の創立30周年を心よりお慶び申し上げます。

旧串良町で開設された後、30年の長きに亘る歴史の中には大変な御苦労があられた 事と思います。高齢者福祉施設の開設で地域の福祉増進に取り組み、理事長はじめ役 職員の情熱と弛まぬ努力、そして先見の明に深く感銘を受けております。

25 年来、公私にわたりお世話になる中で、以和貴会様の施設建築におきましては 12 棟以上の設計監理をさせて頂きました。私自身福祉関係の研鑽に努め、西丸理事長の熱意ある御指導や寛大さに救われた事も多々あり、改めて心より深く感謝申し上げます。

現在、職員 160 名余の名実ともに大隅半島最大級の総合福祉施設として発展し、さらには地域に根付いた夏祭りやグラウンドゴルフ大会等、長年積極的な地域社会への貢献を展開され続けておられます。地域が抱える問題としての高齢者福祉、雇用、そして社会奉仕とその貢献は計り知れません。

以和貴会が、鹿児島県そして大隅半島で今後急速に進む超高齢化社会を支える拠点 として、地域になくてはならない存在として、益々発展される事を御祈念申し上げます。

### 30周年おめでとうございます

前田内科院長前田稔庸

私は産業医としての立場で平成 22 年からお手伝いさせていただいています。仕事柄いろんな介護施設にも顔を出すわけですが、他に類をみない、洗練さを感じます。歴史の違い、トップの考え方の差異でしょうか。30 周年ということですが、介護保険が導入されるはるか前で、当時、医療人としての立場でなく起業されたことは、並々ならぬ、ご苦労、ご努力があったこととお察し申し上げます。又、30 年の長い歴史ということは、この地域の介護業界のトップランナーであり、当初の職員の皆様も30歳を召されていることで、ここを巣立って、この地域の介護関連に数多くの方々が、そのトップとして貢献されていることと思います。又、現在も、いろいろとスタッフのモチベーション高揚のために、資格習得やスキルアップに、取り組まれている状況を目にし、慢心することなく、更なる飛躍を目指されていることを実感いたします。

ヤンキース、黒田がスランプであえいでいる頃、「耐雪梅花麗し」という彼の信条とする言葉の紹介をインターネットで見かけました。古くは西郷隆盛の好んだ言葉のようでございます。冬の厳しい雪や寒さに耐えた梅の花が、春になって一層美しく咲く様子を表しており、人も試練を乗り越えてこそ大成するといった意味で「苦しまずして栄光なし」の考え方ともいえます。その梅の花の例えはヤンキースの中で大ヒットだったようで、主将ジーターも「彼の詩は、われわれに直接あてはめられるもの。良い時も悪い時も、常に変わらず汗を流し続けることが大切だし、頑張れば必ずその報いがある」と心を打たれたようです。

又、ジョー・ジラルディ監督は梅の花の写真を探し、自身のパソコンの壁紙にするなど、 今やヤンキースのチーム精神を支える言葉になっているようでございます。

複雑な社会背景の中、これからも幾多の困難なことがまちうけていることでしょうが、 さらなる飛躍を目指して頑張っていただきたいものです。

改めましてここに敬意を表し、以和貴会のますますの御繁栄を祈念申し上げます。

(以和貴会 産業医)

### 以和貴会と共に

以和貴会創立30年おめでとうございます。以和貴会の歴史は私の歴史でもあります。 私は昭和59年4月、鹿大歯学部病院を退職し母の生まれ故郷申良町に開業致しました。開業後しばらくして共通の知人を通して西丸理事長夫妻と会食したのが以和貴会との出会いでした。以後、歯科医として微力ですが訪問診療等を通して協力させてもらっております。現在では規模も大変大きくなり、入所者、職員とも増え、理事長の社会福祉に対する熱い思いを感じます。

理事長は当初より口腔の管理の重要性を語っておられました。私も理事長の要請に応えるべく今まで努力してまいりました。訪問診療は、外来で診療するのとは違って色々な制限があります。歯科は特に特殊な機械が必要なため、持ち込める機材も限られてきます。それに何より患者さんが様々な基礎疾患を持っておられますので、注意深い診療が必要です。と共に治療の限界があります。高齢者医療に共通する問題だと思います。私は町内外の施設にも訪問診療を行っています。以和貴会の素晴らしいところは、職員の皆さんの対応です。爽やかな挨拶で出迎えてもらえます。お蔭様で外来のような環境で診療ができてとても感謝しております。

また今年、歯科衛生士を採用され、一段と口腔ケアに力を入れておられます。私も今彼女と一緒に勉強し、より良い口腔内を作っていこうと思っています。

以和貴会の更なる御発展をお祈りします。

(協力歯科医院)

### 創立30年を迎えて

#### 理容ボランティア 日高彬博

この度は、創立 30 年、誠におめでとうございます。昭和 59 年、開苑当初から東西 申良理容組合員を中心に 9 名で理容月曜会を結成し、理容ボランティアを続けてまいり ました。「地域のために何かに貢献できないだろうか」と使命感を持ったメンバー達は、 毎月1回、入所者の方々の元気な姿や笑顔を拝見できることが嬉しく、いつの間にか絆 がうまれていることに喜びを感じています。

私共がこうして長い間続けることができたのも、以和貴苑の職員の方々の御理解、御協力のおかげだと感謝致しております。

また、以和貴会では、他にも地域福祉事業に取り組まれていますが、私共は、入所者 の方々が施設で楽しく安心して有意義にすごすことができますよう、理容を通じ、手助 けできれば幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(東西串良理容組合長)



天吹の音色で高齢者に 笑顔と元気と思い出を

ボランティア 牛駒綱雄

社会福祉法人以和貴会創立30年を祝し今後の発展充実を願っております。

天吹に出会い28年、天吹の演奏、制作活動に取り組んでいます。

以和貴会とのつながりは平成 21 年 11 月の京都北山岩戸落葉神社の銀杏祭りの時に 西丸理事長にお会いして天吹の話をしたのがきっかけです。その後、月に1回の割で施 設を訪問し天吹で童謡唱歌を演奏し入所者の歌声に励まされています。 平成 22 年頃理 事長さんとの話の中で「認知症がありとても散髪が嫌いな入所者がいて困っていたが、 ある時理容師の方が入所者の耳元でかごの鳥を歌ってあげたらとても静かに散髪をさせて くれた | との話を聞き、 かごの鳥 を天吹で演奏しようと思いたちました。次回の訪問で 演奏しました。ところが驚いた事が起きました。3番が終わったので天吹の演奏をやめた のですが、数名の方々が歌詞が見えないのに4番を歌いだしたのです。私は慌てて笛を 吹き続けました。すると7番まで続きました。目の前の歌詞が終わると歌い終わるのが 普通でしたが、 かごの鳥 は歌詞がないのに歌が出てくる。それは記憶でしかない、昔歌っ た歌詞がまだしっかりと記憶として残っていることの表れだと実感しました。よく天吹の 音色は琴線に触れると言われます。天吹の音色が高齢者の方々の気持ちの中に入り込む のであるのなら、もっと多くの方々に天吹を聴いてもらい、童謡を歌ってもらう活動が記 憶を呼び覚ますという福祉活動の一助になることを願い天吹の演奏活動に今後取り組み たいと思います。「涙がでった」などのつぶやきが聞こえてきた時は自分が天吹を吹ける ことの幸せをかみしめています。







# 以和貴会創立30周年おめでとうございます

ボランティア大江伸一吉原スミ子

私(大江) と以和貴苑との出会いは友人に誘われて民謡、三味線で慰問させてもらったのがご縁で15年以上続けております。

当初は特別養護老人ホーム以和貴苑でしたが、昨年4月には「年輪」が開設される等、 施設の拡張を見るにつれ、老人福祉の重要性を深く感じております。

私は、和歌山県御坊市の出身で鹿児島に来て40年が過ぎました。鹿児島に来た当時は知らない人ばかりでしたが、歌という趣味を通して多くの人と出会えたことに感謝しております。

私が小学3年生の頃の話になりますが、その時代テレビもなく、夜、おばあちゃんから 「歌を唄って! | を言われ、何の歌か覚えていませんが歌ったのが初めてでした。

おばあちゃんから「上手だね。上手だね。」と誉められたのがきっかけで子供心にその 時の嬉しさが今の自分につながっていると思います。

慰問を終えて「又、来てください」と言われ、利用者の方と握手をする時、私の脳裏に 小学3年生当時のおばあちゃんの姿が浮かび、次への慰問の活力につながっております。 最後に以和貴会の益々の御発展をお祈り申し上げます。



#### ボランティア活動を振り返って

#### ボランティア 友田イチ子

「光陰 矢の如し」月日の経つのは早いものです。

以和貴会との出会いは創立して間もない頃だったでしょうか。串良町婦人会からのボランティア参加呼びかけでした。活動内容は、タオルでの雑巾作り、綻びの繕い、アイロンがけ、車いすの掃除等をさせていただきました。

また、申良商工会婦人部保健補導員の研修、申良文化協会のボランティア等、以和貴苑の夏祭りにも毎年参加させていただいております。

第2拠点のさくら通ができてからは、月に1回の踊りの慰問をさせて頂いております。 利用者の「今日は楽しかった」「今夜はよく眠れる」「ありがとう、ありがとう」「またきっと来てね」の声に、職員の方々の笑顔に魅了され毎回元気と生きるパワーをいただいて、また踊りに行こうという気持ちになります。これからも心身ともに元気でいられる限り参加させていただけたらと切に願っています。

これからも以和貴会が大きく飛躍していかれる事を心よりお祈り致します。



# 30湖台 第年記念誌 事業所紹介

# 法 人 概 要

#### 基本情報

【法人名】社会福祉法人以和貴会 【設立認可年月日】昭和59年7月20日 【設立登記年月日】昭和59年8月13日 【住所】鹿児島県鹿屋市串良町細山田5902-3 【TEL】0994-63-2430【FAX】0994-63-4078 【ホームページアドレス】http://www.iwakikai.org 【メールアドレス】iwakien@po3.synapse.ne.jp

#### 職員(平成26年4月1日現在)

#### 職員数

	常勤職員	非常勤職員	嘱託職員	合計
男性	33人	7人	0人	40人
女性	95人	20人	5人	120人
合計	128人	27人	5人	160人



事務部

### 感謝の気持ちで

事務長 隈元瑞穂

私が以和貴会に入職したのは平成 12 年2月、全職員数は 60 名余だったと思います。 初日の研修でご指導頂き、忘れずにいる事が二つあります。

一つは利用者にはお世話させて頂いているという気持ちを忘れないことです。沢山の 施設の中から私達の施設を選んで頂き、お世話させて頂いているという気持ちは親切、 丁寧なサービスの提供に繋がると思います。

二つ目は法人名にもあるように和を以って業務に当たることです。入所施設は家庭であり、職員は家族の役割も担っています。在宅サービスも同様で、人間関係が良好であれば、 居心地の良い環境がつくられると思います。

創立30周年の今、全職員数は160名を超えます。当法人では平成23年度にキャリアパス制度を導入し、役割や資格、能力に応じた給与制度を構築しました。介護職員処遇改善加算により、介護職員の処遇の改善にも取り組んで参りましたが、介護職員の人材難により更なる改善が必要とされています。しかし、常勤職員の割合が8割の本法人は、平成24年度の人件費割合が全国平均63.1%に対して67.9%と高く、職員の給与水準を下げることなく運営を行っていく為には収入を増やす努力が必要であり、職員全体が意識し取り組まなければならない課題となっています。

先に述べた二つは最も基本的なことですが、利用者のみならず職員の処遇にも関係するものであり、全職員に心掛けてほしいと思います。

私自身、利用者、ご家族、地域の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、良質なサービスの提供に微力ながら努めていきたいと思います。

#### 年代別職員数

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	平均
男性	8人	16人	6人	3人	4人	3人	40人	41.2人
女性	23人	26人	29人	34人	7人	1人	120人	42.5人
合計	31人	42人	35人	37人	11人	4人	160人	42.2人

#### 勤続年数

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計	平均
男性	11人	17人	8人	1人	0人	3人	40人	4.4人
女性	19人	48人	29人	16人	2人	6人	120人	5.3人
合計	30人	65人	37人	17人	2人	9人	160人	5.1人

# 特別養護老人ホーム以和貴苑

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町細山田 5902-3

[TEL] 0994-62-2430

[FAX] 0994-62-4078

【定員】 70 名

【開設】昭和60年5月1日

【利用できる人】

原則として介護認定の結果「要介護」 と認定された方

#### 【特色】

ご利用の方々が、日々楽しく、ゆっくりと生活していただけるための気配りを心掛けており、心身の健康を守り、安心できるサービスを提供できるよう努めます。



相談室



調理室

### 実績報告

#### (1)年齢別状況

平成26年3月1日現在

区分	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	平均年齢	最高年齢
男性	8人	1人	1人	5人	1人	0人	81.1歳	94歳
女性	42人	0人	9人	16人	16人	1人	86.2歳	101歳
計	50人	1人	10人	21人	17人	1人	85.4歳	

#### (2)介護度別状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0人	0人	0人	3人	5人	8人
女性	0人	0人	6人	22人	14人	42人
計	0人	0人	6人	25人	19人	50人

# 短期入所生活介護事業所以和貴苑

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町細山田 5902-3

[TEL] 0994-62-2430

[FAX] 0994-62-4078

【定員】19名

【開設】昭和60年5月1日

【利用できる人】

原則として介護認定の結果、「要支援」

「要介護」と認定された方

#### 【特色】

自宅と違った環境の中でも、心地よくぬくもりのあるサービスを提供させていただきま す。また、ご家族の身体的・精神的介護負担の軽減が図れるように努めます。







看護室

### 実績報告

#### (1)年齢別状況

平成26年3月31日現在

区分	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	平均年齢	最高年齢
男性	6人	1人	1人	3人	1人	0人	87.9歳	92歳
女性	23人	0人	1人	13人	8人	1人	78.8歳	101歳
計	29人	1人	2人	16人	9人	1人	83.3歳	

#### (2)介護度別状況

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0人	0人	0人	2人	1人	2人	1人	6人
女性	0人	1人	2人	7人	6人	5人	2人	23人
計	0人	1人	2人	9人	7人	7人	3人	29人

### 以和貴会30周年に寄せて

特別養護老人ホーム 以和貴苑 副苑長兼機能訓練指導員 長方頭作

高まる施設利用者の医療ニーズに対して、体制整備と職員の育成が今後の課題である。 特別養護老人ホームは「生活の場」と言われ、介護を中心とした生活ケアを提供している。しかし、特養待機者・入所者は要介護度が高い高齢者が多いため、それは、同時に潜在的医療依存度の高い高齢者が施設内に増えていることも意味している。

当施設では、医療ニーズの高い入所者への対応として、様々な取り組みを実践している。 入所者は複数の疾患を患って、中でも嚥下能力が低下し誤嚥性肺炎を引き起こす確率 が高く、痰を吐き出すこともできず、誤嚥することがある。喀痰吸引は医療行為であり本 来は看護職員しか実施できないものであるが、50時間の研修を修了した者は介護職員 でも可能となっている。夜間帯は看護職員がいないため、喀痰吸引が可能な介護職員の 体制整備が必要である。

施設において看取り介護を希望される入所者又は家族に対して、看取り介護の取り組みは可能な限り尊厳と安楽を保ち、安らかな死を迎えられるよう十分に配慮する必要がある。当施設は嘱託医との連携を図り、嘱託医の指示により苑長を中心に、看護職員のみならず生活相談員、介護職員等の多職種協働体制で取り組む。その為には、法人内外での研修機会をつくることも重要であるが、取得された知識や情報が施設内の全ての職員に共有されるように努めたい。

そこで、施設の中核的存在である介護職員だが、人手不足が深刻な問題で人材確保 は非常に苦慮している。

就職したものの、1年足らずで辞めてしまうという方も少なくない。その中でも介護職にやりがいを見出している方も多く、仕事そのものに魅力がないわけではない。最近では男性の介護職員が増加傾向にあり、活気が溢れる職場となっている。

今後は、高まる医療ニーズに応えられる職員育成とともに、福祉職場の魅力を周知出来れば、人材確保に悩まされる事はなく「生活の場」として、施設サービスを提供することが出来ると考える。

### 看取り介護を目指して

特別養護老人ホーム以和貴苑 生活相談員 野村安子

特別養護老人ホーム以和貴苑では平成 26 年度の 20 床増床に伴い、看取り(終末期)介護を実施しております。

看取り介護とは、近い将来に死に至ることが予見される方に対し、その身体的・精神 的苦痛、苦悩をできるだけ緩和し、人生の終末期をその方なりに充実し納得して生き抜 くことができるように援助することです。

2025 年は団塊の世代が 75 歳を迎え、「超高齢化社会」に突入すると言われていますが、育った文化、生活環境、体験、価値観などが違う世代の求めることは多種多様で介護は益々難しくなると思われます。

当然「死生観」に関しても独自の考えを持っており、従来の病院で死を迎えるパターンから施設や自宅で自然に「終末期」を迎えたいと希望する方々が増えてくることが予想されます。

それに対応するためには、施設の環境、職員教育・育成、医療機関との連携、そして、ご家族の「看取り」への理解が必要となり、日頃から本人や家族とコミュニケーションを図り、信頼関係を構築した上で看取りについて共に考え、「尊厳ある死」を迎えることが出来るよう体制を整える必要があります。

今後看取り介護を実施するに際し、職員の役割や「死」について十分に理解を深め、 医師のご指導の下、利用者が安らかな終末を迎えることができるようまごころを込めて 援助したいと思います。

### 私の目指す看護師

特別養護老人ホーム以和貴苑 看護主任 池屋由起子

我々の業務の最も大事な要素は、入所者との「信頼関係」である。病気の身体に治療を施す時に一番必要なものは入所者と医師、そして看護師、他職種との信頼である。その信頼を確立するためにどうすればよいか。

私が最も気を付けているのは、入所者とのコミュニケーションである。医療機関では、長い待ち時間に短い診察時間である。その間、患者さんは立ち働く私たちの姿を事細かく見ている。その姿を見ながら声をかけてくるのでその対応には笑顔が欠かせない。そして相手のペースに合わせ、ゆっくり話を聞く。その際は目で見て手で触れる観察も必要であり、また思いやりの気持ちを相手に伝えることも大切なことである。そうすることで、入所者の心の奥深くにある思いや悩みに触れ、相手との信頼関係を築くことができる。また、入所者の気持ちを知り、正面から入所者の悩みに一緒に取り組んでいく心構えも必要であろう。ほんのわずかな時間であっても、このような対応ができることが「看護」であると、私は思う。

現在85歳以上の方の3人に1人は認知症であり、当施設の入所者も認知症に罹患されている方がほとんどである。病院等における医療従事者の認知症への知識や対応は十分とは言いがたく、入院した認知症の人への行動・心理症状(BPSD)やコミュニケーションの困難さによる戸惑いや混乱、看護、介護の負担の増加が見られる。そのため認知症を理由とする入院拒否等により必要な治療が受けられなかったり、時には不適切な身体拘束や安易な薬物的鎮静がなされることもあり、高齢者の重度化に伴い、介護・看護者の人員不足も続いている状況である。認知症に対する理解や基本的な知識、対応方法が必要である。

私たち看護師をはじめ職員は、ついつい日々の忙しさに惑わされてしまう。しかし「忙しい」の「忙」とは「心を亡くす」ことである。入所者の心を汲み取ることを忘れないのはもちろん、自分自身の心も亡くすことのないよう、これからも努めていきたいと思う。

### 30周年に寄せて

特別養護老人ホーム以和貴苑 管理栄養士 大城佳那

私は幼いころから、食べることが好きで将来も好きなことが生かせる職業に就きたいと思い、管理栄養士の道に進みました。早いもので、以和貴会に入職し8年が過ぎようとしています。

以和貴苑の厨房は直営で運営しています。青果は毎月入札を行い、安くて新鮮な国産 農作物を使った料理を献立に多く取り入れています。毎月、給食委員会でお好み焼きや バイキング等の特別食を企画し、普段と違った雰囲気で食事を楽しんで頂けるよう取り組 んでいます。

更に平成22年12月から栄養ケアマネジメントを導入しています。栄養ケアマネジメントとは、多職種協働で栄養ケアに取り組み、低栄養状態を改善・予防することです。実際の担当者会議では、入所者一人ひとりの問題点について、入所者の家族も参加し、話し合いが行われます。食事量が少なく体重が減少している方、糖尿病で食事管理が必要な方など、食事に関する問題を抱える方がたくさんいらっしゃいます。今まで何度も困難に直面し、自分の能力不足を痛感することもありましたが、多くの方に支えられてこれまで続けてくることが出来ました。

これからもご指導いただいた方々や、家族に感謝しながら、日々精進してまいります。





### 30周年に寄せて

特別養護老人ホーム以和貴苑 調理主任 大田耕治

以和貴苑の調理職員として開設と同時に採用されてから早いもので 30 年を迎える事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

開苑当初は調理員 4 名でスタートし、苑の事業拡大と共に今では調理員は 12 名で調理業務に取り組んでいます。

この間、特に注意してきたことは、調理場の衛生管理、食材の吟味です。その結果、この30年間ただの一度も食中毒を発生させていないことが私の誇りです。

介護保険導入の頃から調理業務も、ミキサー食の代わりに形のあるソフト食、なめらか食など食べやすい食事へと変わってきました。

また、毎月の行事食やバイキングへの取り組み、選択メニューの採用、嗜好調査による代替給食、病院から指示された食事、海藻、減塩、油抜き、アレルギーなどきめ細かな食事作りに取り組んでいます。

高齢化が進む現代社会の中で入所者も重度化が進んでいます。私たち調理員もそうした高齢者の食事に対応できるよう、なお一層技術の向上と工夫が要求されます。



# 思い出















and a second of the second and a second and a second as a second a

# 介護付有料老人ホーム秋桜苑

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3100-2

[TEL] 0994-62-8855

[FAX] 0994-62-8866

【定員】29名

【開設】平成21年4月1日

【利用できる方】

鹿屋市在住で、要介護1~5の介護認 定を受けている方で

- 1. 入院加療を必要としない方
- 2. 住宅環境やご家族の状況により自宅での生活が困難な方

#### 【特色】

高隈山系の豊かな自然環境の中、充実した施設設備ときめ細かいサービスによって、 安心と健康に満ちた新しい毎日を送ることができます。

入居者処遇の最も大事な職員数は、国基準では17名のところ24名、特に直接介護職員は10名のところを15名配置しています。更に夜勤職員は基準1名のところ2名配置し、万が一の緊急事態にも十分対応できるよう万全の体制をとっています。





### 利用者の状況

#### (1)年齢別状況

平成26年3月31日現在

区分	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	平均年齢	最高年齢
男性	7人	1人	1人	2人	3人	0人	84.7歳	93歳
女性	21	0	1	10	9	1	89.4	103
計	28	1	2	12	12	1	88.2	

#### (2)介護度別状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0人	1人	0人	4人	2人	7人
女性	3	1	5	7	5	21
計	3	2	5	11	7	28











### 社会福祉法人の役割

介護付有料老人ホーム秋桜苑 施設長 徳永真二

社会福祉法人以和貴会は今年で30年を迎える。以和貴会設立当初は措置の時代であったが、現在は介護保険制度に移行し、契約の時代となっている。

措置時代はパターナリズムによる仕組みで運用され、福祉サービスを必要としている 者に関わる事柄を、本人に代わって行政が決定し、利用者に選択権はなかった。

介護保険制度の導入により、利用者がサービスを選択できるようになり、保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられる仕組みとなった。また、民間企業等が福祉サービスに参入できるようにもなった。

平成 18 年の介護保険法の改正では地域密着型サービスが創設され、都道府県が行っていた事業者の指定や監督の権限を市町村に移譲した。地域密着型サービスは、利用者が地域の中で暮らし続けることができるよう、事業所が所在する市町村の住民しか利用できないサービス体系となっている。施設の規模が小さく、利用者のニーズにきめ細かく応えることができる特徴がある。グループホームや小規模多機能型居宅介護、29 名以下の特定施設など、8 つのサービスが該当する。

介護保険制度の創設により、福祉サービスは競争の時代となり、サービスの質の向上が期待された半面、多様な事業主体が参入と撤退を繰り返し、継続したサービスが提供できていないことも事実である。

そのなかで、社会福祉法人は地域のセーフティーネットの役割を要求されており、利用 者に安定した福祉サービスを継続して提供していく責務がある。

以和貴会は、その責務を適切に遂行するため、経営基盤の強化やサービスの質の向上を図るとともに、事業の透明性を確保して地域福祉に貢献し、地域福祉の拠点を担える 社会福祉法人となれるよう邁進していきたい。

### 今この時、職員の一人として

介護付有料老人ホーム秋桜苑 生活相談員 山田篤子

30年前、以和貴苑が開苑する頃、私は他県で社会人としての第一歩を踏み出した時でした。新入社員はまず、これまでの生ぬるい学生気分を叩きのめされるべく、数日間、泊り込みで研修所へ送り込まれました。研修を終えて、同期の仲間と研修所を出た時のあの開放感は今でも忘れられません。

現在、私は秋桜苑の生活相談員として勤務しております。秋桜苑は開苑して5年が過ぎました。介護保険の地域密着型特定施設に位置付けられており、鹿屋市に住所のある皆様にご利用頂ける施設です。現在、有料老人ホームと名の付く施設は鹿屋市内に30以上あります。その為か入居待機者が減少し、一時的に空き室が続いた時もありました。私共の当面の課題は鹿屋市民の皆様に広く認知していただける施設として成長する事です。その為にはまず、広報宣伝活動も必要です。住宅型とのサービス内容の違いを理解していただき、その方に適した施設を選択していただけるよう情報の提供が必要です。また、職員のマナーや技術、知識の向上が大変重要となります。苑内研修、外部研修で専門職としての知識を習得し、さらに職員それぞれが資格取得など研鑽を積み、職員全体の質を上げる為の努力がさらに必要と考えます。

社会情勢の変化により、介護を取り巻く現状は落ち着く間もなく流動的です。そんな中にあり、私たちは地に足を着けて、職員間の年齢の垣根を越え、それぞれの個性、得意分野を生かし、利用者の皆様の為に和やかな生活環境をつくり、健全なサービスを提供していきたいと考えています。

# 住宅型有料老人ホーム年輪

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3105-2

[TEL] 0994-62-8805

[FAX] 0994-62-8806

【定員】19名

【開設】平成24年4月1日

【利用できる人】

原則として介護認定の結果、「要支援」、 「要介護 | と認定された方

#### 【特色】



木材をふんだんに使用し、木の良さを最大限に発揮した施設です。居室は全室個室となっており、全部屋洗面所やトイレを完備しています。入所者の身体状況や希望に応じた介護保険サービスが利用できます。生活相談員や看護職員、介護職員等の専門スタッフを配置し、24 時間職員が常駐するため、身体が不自由な方も安心して生活していただけます。



### 実績報告

#### (1)年齢別状況

平成26年3月31日現在

区分	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	平均年齢	最高年齢
男性	7人	0人	1人	6人	0人	0人	83.8歳	88歳
女性	12	0	1	7	4	0	86.4	92
計	19	0	2	13	4	0	85.1	

#### (2)介護度別状況

区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1人	1人	2人	2人	1人	0人	7人
女性	1	2	6	1	2	0	12
計	2	3	8	3	3	0	19











# 小規模多機能型居宅介護年輪

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3105-2

[TEL] 0994-62-8805

[FAX] 0994-62-8806

【定員】 25 名

【開設】平成25年4月1日

【利用できる人】

鹿屋市在住で、介護認定の結果、「要支援」、「要介護」の認定された方 【特色】



24 時間、365 日の在宅生活を支えるために「通い」や「訪問」、「泊まり」を組み合わせ、さまざまな支援を行います。地域の皆様がそれぞれのペースで、住み慣れた自宅で生活できるよう支援しています。





#### 実績報告

#### (1)介護度別状況

平成26年4月実績

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0人	0人	1人	1人	1人	0人	0人	3人
女性	2	0	2	2	2	1	0	9
計	2	0	3	3	3	1	0	12

#### (2)利用実績(延べ人数)

平成25年度実績

区分	登録者数	通い	訪問	泊り	合計
平成25年度	89人	1,894人	1,388人	128人	3,410人

### 法人創立 30 周年の思い

住宅型有料老人ホーム年輪 施設長 西丸 晴彦

現在、国では平成27年度の介護保険法改正に向けての内容が検討されており、特別養護老人ホームの入所基準厳格化や地域支援事業創設などが議論されており、高齢者福祉を取り巻く状況もめまぐるしく変化しています。

私が勤務する住宅型老人ホーム年輪は定員 19 名に対して現在満床の状態です。平均 介護度は要介護度2と低く、比較的元気な高齢者が生活しています。また、入居待機者 も3名おり、空室待ちの状態です。しかし、現在鹿屋市には同じタイプの入居施設は年 輪も含めて34 施設あり、ベッド数では693 床になり激戦の状態です。今後は長寿化に 伴い、介護を必要とする高齢者の増加に留まらず、介護を要する期間も長期化していき ます。このことにより、経管栄養や吸引、インスリン注射等の医療行為、看取りを含め た対応を必要とする高齢者も多くなり、「高齢者の生活を24 時間どのように支えるか」 ということがこれからの課題になってくると思います。

2025年には、日本の高度経済成長を支えた団塊の世代が75歳に達し、介護や福祉分野の需要はますます増え続けます。このような状況の中、我々職員も研鑽を積み、時代の流れに対応していかなければなりません。

住宅型有料老人ホームもまた、雇用条件の見直し、職員の教育・研修システムの構築 を通じて、さらなる介護の質の向上を図るべく、人材育成、教育にも注力してまいりたい と思います。

法人創立 30 周年を新たな気持ちで迎え、今後も職員一丸となって利用者の皆様が健康・笑顔でお過ごし頂けるよう努めるとともに、地域に根差した以和貴会の介護保険・ 高齢福祉サービスづくりを実現するため精一杯頑張っていきたいと思います。

## 「30周年」によせて

小規模多機能型居宅介護事業所年輪 管理者 堀之内美代子

年をとっても、住み慣れた自宅で、慣れ親しんだ環境のもと、馴染みの人たちと関わりをもちながら暮らし続けたいと、誰もが望んでいるのではないでしょうか?

しかし、実際は自宅で介護が必要になると、そんな願いとは関係なく住み慣れた自宅を離れ、家族や友人たちとも別れて、遠く離れた施設へ入所せざるを得ない状況もあります。

そんな高齢者の願いから生まれたのが、地域密着型サービスの一つである「小規模多機能型居宅介護」です。

今までの在宅サービスだけでは実現しきれなかった「一番安心出来る住みなれた自宅や地域で、自分らしくこれまでの暮らしを続けることが出来るように」との思いで、平成25年4月に「小規模多機能型居宅介護事業所年輪」が開設されました。

小規模多機能型居宅介護では、同じ場所で、顔馴染みの利用者同士や職員が「通い」を中心に、「宿泊」「訪問」といった支援によって継続的に関わります。そのため、環境の変化に敏感なお年寄り(特に認知症の方)の不安を和らげることができ、又、ご本人やご家族の変化に瞬時に気づくことが出来るため、状況や状態に合わせて臨機応変に、その時その人にあった「支え方」を提供することができます。それが一体的に関わる良さであり、小規模多機能の強みでもあります。

私たちは「介護する」「介護される」の関係ではなく、「共に生きることを支援する」協力者です。馴染みのスタッフにより、本人が出来ること、出来る可能性があることに目を向け、持っている能力を活かし、ご本人の「暮らし」を継続的に支えていきます。又、「馴染みの環境」で安心して生活するのに地域の力も重要です。そのため私たち事業所には地域の資源を使って支援していく事も課せられており、地域との交流を積極的に行ない、「支え」「支えられる」関係づくりを目指していかなければなりません。

管理者兼介護支援専門員として、まだまだ未熟ではありますが、自分を支えて下さる 周りの皆様に「感謝」の気持ちを忘れず、今後もご本人、ご家族の側に立った援助を行なっ ていきたいと思っております。



# その①











# 老人グループホームけやき

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町細山田 5902-3

[TEL] 0994-62-4060

[FAX] 0994-62-4061

【定員】 9名

【開設】平成13年8月9日

【利用できる人】

医師より認知症と診断され、介護認定の結果、要支援2又は要介護1~5と認定された方が対象となります。



#### 【特色】

入所者のプライバシーを尊重した生活空間の中で、ゆったりと過ごしていただき、また、 地域との交流を盛んにし、できるだけ多くの人々とふれあいの場を持つことに努めます。



### 実績報告

#### (1)年齢別状況

平成26年3月31日現在

区分	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	平均年齢	最高年齢
男性	1人	人0	0人	1人	0人	0人	84歳	84歳
女性	7人	0人	0人	4人	3人	0人	88歳	92歳
計	8人	0人	0人	5人	3人	0人	87.5歳	

#### (2)介護度別状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	人0	0人	0人	1人	0人	1人
女性	1人	1人	3人	2人	0人	7人
計	1人	1人	3人	3人	0人	8人











### 創立 30 年を迎えて

老人グループホームけやき 管理者 **尾 崎 ま な み** 

私は、平成13年4月より勤務させていただいています。介護の経験のない私に「皆、初めは経験ないんだから」と面接の時に優しく声をかけ、採用していただいたことを今でもよく覚えています。

その時から今日まで、色々なことを勉強させていただき、資格を取得し、現在はグループホームの管理者を任せていただいていることに心から感謝しております。

けやきは、認知症対応型共同生活介護という、介護保険のサービス事業であり、認知症と診断された高齢者が、スタッフによる支援を受けながら共同生活を送られています。 家庭的な環境のもとで、できる限り自立した日常生活を送っていただけるよう個々の残存能力を最大限に活かすことを目標に取り組んでいます。

在宅では、高齢者が高齢者を介護する老老介護や認知症の人が認知症の人を介護する認認介護も増加し深刻な問題になっています。家族の負担を軽減するためには、適切に介護保険サービスを利用していく必要があります。

介護保険制度がスタートしてからグループホームは急激に増えてきています。

しかし、今、高齢者の介護を担うスタッフの確保が難しい状況となっている現実があります。

これからは、スタッフの確保と人材育成に努めていかなければならないと思っています。 また、高齢で重度化してきている入居者の皆様を支援していくため、個々の状態を適切 に把握し、その情報を共有してチームケアを行い、スタッフが働きやすい職場環境にして いくことも責務です。



その②







# 老人グループホームさくら通

【住所】鹿児島県鹿屋市申良町下小原 3103-2

[TEL] 0994-62-8887

[FAX] 0994-62-8890

【定員】 9名

【開設】平成17年2月1日

【利用できる人】

医師より認知症と診断され、介護認定の結果、要支援2又は要介護1~5と認定された方が対象となります。



#### 【特色】

ゆとりと信頼のある場所で、プライベートな時間のある生活空間づくりに努め、できる 限りご本人の意向に沿ったお世話と地域とのふれあいを目指します。



### 実績報告

#### (1)年齢別状況

平成26年3月31日現在

区分	合計	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	平均年齢	最高年齢
男性	人0	人0	0人	0人	0人	0人	一歳	一歳
女性	9人	人0	0人	3人	6人	0人	92.2歳	100歳
計	9人	人0	0人	3人	6人	0人	92.2歳	

#### (2)介護度別状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女性	0人	2人	1人	2人	4人	9人
計	0人	2人	1人	2人	4人	9人











### 30 周年に寄せて

グループホームさくら通 管理者 飯ヶ谷洋子

特別養護老人ホーム以和貴苑が開苑した昭和 60 年、私は子育てをしながら実母の介護をしていました。それが切っ掛けか定かではありませんが、平成4年6月、寮母として特養以和貴苑に入職し早や 21 年が過ぎようとしています。

急速なわが国の少子高齢・核家族化に伴う介護力の低下が危惧され、平成 12 年、介護保険制度が創設されました。それまで介護現場は、入所者のADL(日常生活動作)や介護者の介護技術の向上等、直接処遇が重要視されていましたが、制度導入後はアセスメント、ケアプラン作成、担当者会議、モニタリング等、直接処遇の他に馴れない事務処理に追われる毎日です。

介護保険も創設から13年を経て定着しましたが、鹿屋市も、介護保険3施設の他に 有料老人ホーム等が数多く増設され、グループホームも現在36施設と増加しています。

平成17年の設立当初、平均介護度は2.1であった入所者も、現在3.8と重度者が多く、平均年齢も91歳と高齢で複数の疾患や既往歴のある方々が入居されています。平成26年8月より、当ホームの共有スペースを利用した1日3名まで利用できる認知症対応型通所介護(共有型)を開始します。料金は単独型任認知症対応型通所介護に比べ約半分と低料金で、さらに、グループホームに空きが出るまでサービスを利用して環境に馴染んでいただくことでスムーズに入居可能となる利点もあります。

今後も、ご利用者の安心安全はもとより、グループホームとしての特性を活かしつつ、他事業所と連携を図りながら、当ホームの理念「ゆとりと信頼のある場所で、プライベートな時間のある生活空間作りに努め、できる限りご本人の意向に沿ったお世話と、地域とのふれあいを目指します」を目標に職員一同、心を一つに入居者処遇に邁進していきたいと思います。

# 夏祭り















and the second s

# デイサービスセンター以和貴苑

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町細山田 5902-3

[TEL] 0994-62-4082

[FAX] 0994-62-4177

【定員】35名

【開設】平成3年3月27日

【利用できる人】

原則として介護認定の結果「要支援」、 「要介護」と認定された方。介護認定で 「非該当」と認定された方には「生きが い対応型デイサービス」がご利用になれます。



#### 【特色】

以和貴苑では季節の変化を感じることができるレクリエーションを提供することで、利用者の皆様が生きがいを持って楽しく毎日を過ごすことができるようさまざまなサービスに取り組んでいます。



# 実績報告

#### (1)介護度別状況

平成26年4月現在

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	人0	1人	3人	3人	1人	2人	1人	11人
女性	1人	15人	7人	11人	2人	0人	2人	38人
計	1人	16人	10人	14人	3人	2人	3人	49人















## 30 周年に寄せて

デイサービスセンター以和貴苑 生活相談員 古川久美子

私と以和貴会との出会いは、平成12年町内会の回覧板で回ってきた「ヘルパー募集」 の広告でした。それまで介護の経験は全くありませんでしたが、興味があり直ぐに応募し ました。

縁あって当苑にお世話になることになりました。尊敬できる先輩方との出会いがあり、 介護に対する自分の考え方やヘルパーとしての在り方など毎日が勉強でしたが、充実した 毎日でもありました。

そして、色々な利用者との出会いや別れ、様々な体験を通し介護の奥の深さを痛感し、 今があるのだと思います。

現在、デイサービスセンターに勤務しております。デイサービスは地域の在宅のお年寄りに入浴、機能訓練、レクリエーションを提供して、高齢者の自立支援やご家族の負担軽減を行うサービスです。

近年、福祉サービスの多様化に伴い質の高いサービスが求められています。家族に福祉サービスが必要となったとき、より良いサービスを受けたいと思うのは自然なことだと 思います。

そこで、私達職員の資質や利用者様の満足度の向上を目指し、毎日試行錯誤しています。これからも自己研鑽に努め精進していきたいと思います。

# 敬老祝賀会















# デイサービスセンターさくら通

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3103-2

[TEL] 0994-62-8880

[FAX] 0994-62-8884

【定員】30名

【開設】平成15年10月1日

【利用できる人】

原則として介護認定の結果「要支援」、 「要介護」と認定された方。介護認定で 「非該当」と認定された方には「生きが い対応型デイサービス」がご利用になれます。



#### 【特色】

さくら通では利用者の皆様が身体も気持ちも元気に過ごせるよう機能訓練、体操、四季折々のレクリエーション等バラエティーに富んだプログラムを実施しています。



### 実績報告

#### (1)介護度別状況

平成26年4月実績

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	人0	1人	1人	1人	2人	2人	0人	7人
女性	2人	11人	14人	19人	7人	4人	1人	58人
計	2人	12人	15人	20人	9人	6人	1人	65人















### 生活相談員として

デイサービスセンターさくら通 生活相談員 **庭野 貴 子** 

私は、現在デイサービスセンターの生活相談員兼介護職員として仕事をさせていただいています。初めは私には生活相談員は無理ではないかと不安ばかりが先行しました。ただ、現職に就く前、介護保険の仕組みもわからず手探りで母の介護をしていた頃に、介護の事を相談できる人、アドバイスをしてくださる人に出会っていれば、私達家族はもっと満足いく介護が出来たのではないかとの思いがあり、私も微力ながら相談員としてご利用者、ご家族の力になりたいと思うようになりました。

相談員として力不足を感じる毎日ですが、私個人としては、ご利用者が在宅で自立した生活をする為、ご家族の介護支援の為、なにが出来るかを常に考え努めていきたいと思います。またデイサービスさくら通としては、私の母のように家に閉じこもり生活不活発病にならないためにも、デイサービスに来ていただき、機能訓練、レクリエーション等に参加することで心身共に元気になっていただきたいと思います。ご利用者のご家族とお話をすると多くの方が「家ではあまり動かないからデイでは出来るだけ運動をさせて下さい」と言われます。また機能訓練の器具が充実しているデイケアを希望されるご家族もいらっしゃいます。

このような事を踏まえ、さくら通では立派な器具はありませんが、自宅でも出来る筋力を強化する為の運動等を毎日継続して実施し、日常生活動作訓練として、「自分で出来ることは自分でしましょう」を合言葉に今では、洗髪、背中は職員がサービスとして洗っていましたがご自分で洗える方は洗っていただき、靴もご自分の名札を靴につけて靴箱に入れる等、少しずつですが、「これは出来るよ」とご利用者に言っていただく取り組みを始めました。もちろん、すべての方がご自分で出来るわけではありませんからご利用者の自立度を見極めて最適な介助を心がけています。一つでもご自分で出来ることが増え、ご利用者が自信をもって生活出来るよう職員一同更に知恵をしぼり、皆様から愛されるデイサービスセンターさくら通として努力していきたいと思います。

# グラウンドゴルフ大会















# 以和貴苑居宅介護支援事業所

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3103-2

[TEL] 0994-62-8881

[FAX] 0994-62-8885

【開設】平成12年4月1日

【利用できる人】

原則として介護認定で「要介護」と認 定された方

#### 【特色】

要介護者が居宅で自立した日常生活を



営むために必要な保健・医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に利用できるよう、要介護者の希望に沿ったサービス計画の作成その他の便宜の提供を行なうことを目的とします。

ご利用者とご家族の在宅生活を支える地域の拠点として、健康でその人らしく安心して 日々過ごしていただけるよう、きめ細かな思いやりのあるサービスを提供します。



### 実績報告

(1)ケアプラン作成状況(延べ人数)

平成25年度実績

区分	合計	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成25年度	1,586人	147人	400人	471人	274人	197人	97人

### 鹿屋市東部地区地域包括支援サブセンター

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3103-2

[TEL] 0994-62-8871

[FAX] 0994-62-8885

【開設】 平成 19 年2月1日

【利用できる人】

原則として介護認定で「要支援」と認定された方

#### 【特色】

鹿屋市地域包括支援センターは、保健師 (看護師)、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどが中心となって、介護などを必要とする高齢者や家族の人でお悩み事、高齢者虐待、 高齢者を狙った悪徳商法等の相談を行います。

また、介護予防サービス計画 (介護予防ケアプラン) の作成・評価等を行い高齢者の皆様が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすことができるよう支援する機関です。

鹿屋市串良地区では主に「鹿屋市東部地区地域包括支援サブセンター」が介護予防に 関するマネジメント等を担当しています。

### 実績報告

(1)ケアプラン作成状況(延べ人数)

平成25年度実績

. ,			
区分	合計	要支援1	要支援2
平成25年度	688人	213人	475人





## 30 周年にあたり

以和貴苑居宅介護支援事業所管理者 西丸由子

学生時代にアルバイトをしていた飲食店で、中年男性のお客様が「25歳の時に25年後の自分を全く想像できんかったけど、今から25年後の自分は大体想像がつくな」と話しているのを耳にしました。この言葉は、当時特に就きたい職業も目標もなかった私の心に残りました。

20歳の自分が25年後の45歳になった時、どのような仕事をして、どのような生活を送っているのか、何も想像できませんでした。そして、まだまだ色々なことにチャレンジできる可能性があることに気付き、選んだ仕事が福祉でした。

大阪の福祉施設でヘルパー、デイサービス、特養の介護職員、施設の介護支援専門員を経験し、申良町に越してきて10年。同じく以和貴会に勤めて10年が過ぎます。今年以和貴会は創立30周年を迎え、現在までに大きく事業展開してきています。以和貴苑居宅介護支援事業所においても、主任介護支援専門員の配置や介護支援専門員の増員など、日々ご利用者の支援に切磋琢磨しています。これから認知症や独り暮らしの高齢者が増えていく中、住み慣れた場所で安心して暮らしていただけるよう介護保険サービスのみならず、多種多様な社会資源を活用したサービスを提供していく必要があると思います。そのためにも、様々なニーズに対応できる幅広いネットワークづくりやスキルアップに努めていきたいと思います。

# 思い出











hardware the first war white the first with the first of the first of the first of the



## 以和貴苑訪問介護事業所

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3106

[TEL] 0994-62-8883

[FAX] 0994-63-0133

【定員】なし

【開設】平成5年7月1日

【利用できる人】

原則として、介護認定の結果、「要支援」 「要介護」と認定された方

#### 【特色】



要介護者等の心身の特性を踏まえて、その能力に応じた日常生活を営むことができるよう入浴、排泄、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行い、利用者及び介護家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的としています。

誠意あるサービス提供とご利用者との信頼関係を築くことで、ご利用者が住み慣れた 自宅で安心して暮らすことができる環境づくりに努めます。



## 実績報告

### (1)活動状況

平成25年度実績

区分	合計	身体介護	生活援助	身体生活	予防介護
平成25年度	7,093回	850回	4,058回	933回	1,252回
	12,739.5時間	4,156.5時間	1,285.5時間	6,043時間	1,254.7時間



## 「30周年」によせて

以和貴苑訪問介護事業所管理者 ト久保あつえ

私達は総勢 10 名でヘルパー活動を行なっています。在宅で日常生活をおくっていく上で健康な人は「食事を摂る」「入浴する」「排泄する」などの動作は自分の意思によって普通に行なっていますが、何らかの障害や疾病により、その動作が出来なくなり介護を必要としている方たちに対して在宅生活を支援していきます。

これから団塊の世代が介護保険第一号被保険者となる 2025 年には本格的な高齢化の時代を迎えますが、多くの人が年を重ねても暮らしたい場所は、住み慣れた家でとの思いが強いようです。私達事業所の利用者にも 85 歳以上で、近くに家族が住んでいても一人暮らしをされている方も多く、「我が家で最期まで暮らしたい」という願いに寄り添うことが重要と考えます。

また、在宅での看取りも一つの支援と考え、色々なスタッフが関わり、ご本人、家族と サポートし、ご本人の気持ちや意思を大切にその人にあった介護を行い、最後まで寄り 添うことが必要だと思います。

今後も私たちヘルパーは、ご本人、ご家族の思いに応えられるように介護技術の習得 や向上に向けて気持ちを新たに努力し、尊厳を保ちながら住み慣れて我が家で安心して 生活できるように寄り添い支援していきたいと思います。

# 思い出















# 以和貴会訪問介護員養成事業所

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3106

【開設】平成 21 年6月 10 日 【利用できる人】

介護職員初任者研修修了資格取得を 目指す方

#### 【特色】

以和貴会訪問介護員養成事業所は、 わが国の急速な高齢化の進展の中で、 鹿児島県大隅半島において質の高い福祉



を実現するために、すぐれた技術と人間性を兼ね備えた人材を育成し、地域社会の福祉 の増進に寄与することを目的としています。基本的な社会福祉制度及び高齢者、障害者 福祉サービスを学び、介護技術を演習や施設実習で経験していくことにより、福祉施設 で即戦力となる人材を育てます。

### 実績報告

#### (1)受講者数

区分	自主事業	受託事業	合計
平成21年度	41人	0人	41人
平成22年度	63	0	63
平成23年度	22	39	61
平成24年度	13	20	33
平成25年度	13	39	52





## 創立30周年に寄せて

特別養護老人ホーム以和貴苑
介護支援専門員 兼養成事業所長 道山奈月

幼い頃父親を亡くし、将来仕事をするなら誰かの手助けになる仕事がしたいと思い福祉の仕事を選びました。父親亡き後も、沢山の人の愛情や支援で何不自由なく生活することができました。そして今度は自分が誰かを支えられる人になりたいと思ったからです。

高齢者を取り巻く環境や制度は日々変化しています。テレビや新聞などで 2025 年問題がたびたび取り沙汰されています。2025 年には団塊の世代が 75 歳を向かえ、国民の5人に1人が後期高齢者となります。後期高齢者となると当然介護需要が高まり、2025年には要介護・要支援者が 755 万人となるため、介護従事者が 249 万人以上必要となると予測されています。平成 24 年度の介護従事者数は 149 万人ですので、新たに 100万人の介護従事者を確保する必要がありますが、人材の確保は容易ではありません。

以和貴会では平成22年より訪問介護員養成事業(現在は介護職員初任者研修事業)を開始し、法人主催の講座だけでなく、職業訓練校の委託訓練も受託し、介護従事者、求職者の資格取得の手助けをしています。また、法人職員の介護福祉士、介護支援専門員の資格取得のための勉強会なども実施し、無資格で介護の仕事を始めた職員が一歩ずつステップアップできるような取組を行っています。

また、介護の仕事は3K(きつい・汚い・危険)と表現されることがあります。生命や生活を支える仕事ですので精神的、身体的にも負担は多く、責任の大きさから逃げ出したくなることもあります。しかし、だからこそ得られる喜びや達成感もあります。そのような介護の仕事の魅力ややりがいを実際に介護の仕事に携わったことのない方々に知ってもらい、興味を持ってもらうことで、介護の仕事を志す人が増え、地域に住む介護サービスを必要とする人々が将来への不安を感じることなく、安心して生活することができる地域づくりに貢献していきたいと思います。

## 鹿屋市生活支援ハウスさくら通

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3103-2

[TEL] 0994-62-8888

[FAX] 0994-62-8891

【定員】 10 名

【開設】平成17年4月1日

【利用できる人】

鹿屋市に住所を有する方で原則として、 60歳以上であり、かつ、1人暮らしの方、 夫婦のみ世帯に属する方、又は家族によ



る援助を受けることが困難な方であって、高齢等のため独立して生活することに不安のある方が対象となります。原則として介護保険非該当の方が利用できます。

#### 【特色】

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することによって、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とした施設です。

### 実績報告

#### (1)入所者数

区分	入所者数			
平成25年度	8人			









# 職員親睦会







# 関連施設リハビリ強化型デイサービスさくらんぼ

【住所】鹿児島県鹿屋市串良町下小原 3104-1

[TEL] 0994-63-0060

[FAX] 0994-63-0065

【定員】10名

【開設】平成 24 年 12 月1日

【利用できる人】

原則として、介護認定にて、「要支援」、

「要介護」と認定された方

#### 【特色】

専属の理学療法士によるリハビリと物理療法を中心とした少人数制・半日タイプのデイサービスです。サービス利用時間すべてがリハビリテーションと考え機能訓練を行います。

### 実績報告

#### (1)介護度別状況

平成26年4月実績

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1人	1人	1人	3人	0人	1人	0人	7人
女性	1人	5人	6人	10人	2人	2人	0人	26人
計	2人	6人	7人	13人	2人	3人	0人	33人



### 「30周年」によせて

リハビリ強化型デイサービスセンターさくらんぼ 管理者兼理学療法士 西丸昭彦

現在、わが国は国民の4人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えており、今後も速いスピードで高齢者人口が増加し、2050年には3人に1人が65歳以上になることが推計されています。一方で、少子化の進行はもとより、地域社会の機能や世帯構造が大きく変化する中にあって、高齢者福祉のあり方が大きな課題となっています。

また高齢者のひとり暮らしや独居が社会問題となり、また少子高齢化に伴い、高齢者 単独の世帯数は増える一方です。問題点は、体力の低下で日常生活に支障をきたしたり、 介護が必要になったときに支援してくれる同居者がいないことなどが挙げられます。現在、 この鹿屋地区においても高齢者の独居生活は行政の課題であり、生まれ育った地域で少 しでも長く生活することが出来るように介護保険を利用した機能訓練による基礎体力の 向上が求められると思われます。

平成 24 年 12 月に開設したリハビリ強化型デイサービスセンターさくらんぼは専属理学療法士によるリハビリと物理療法を中心とした少人数制・半日タイプ (10 時 30 分~ 16 時 00 分)のデイサービスで、リハビリテーションの概念を重視し、個別リハビリ (マンツーマン)だけをリハビリテーションと考えるのではなく、ご自宅から送迎車への移動、施設内での移動、日常生活動作などサービス利用時間のすべてをリハビリとします。また利用者様お一人おひとりの生活環境や身体状況に合わせた個別プログラムや選択プログラムを用いて、加齢と共に衰えつつある身体の機能を維持・改善し、老後活力のある生活を送れるようにするため高齢期に発症する疾患や障害をいかに予防していくかを考え地域に根ざした福祉事業を展開していきたいと考えております。



# 30以介質会 周年記念誌 資料

年号	法人の動き		一般社会の動き
昭和59年 (1984)	7月20日 社会福祉法人 以和貴会設立		県内唯一の私鉄南薩線が廃止 九州新幹線鹿児島ルートの駅・ ルート案公表 デザインー新して新紙幣発行 (一万円、五千円、千円)
昭和60年 (1985)	5月1日 特別養護老人ホーム以和貴苑 開苑		鹿児島一旭川間3,400kmの日本列 島光ケーブル全通 日本電信電話(NTT)、日本たばこ 産業㈱(JT)民営で発足 5カ国蔵相会議(G5)で「プラザ合 意」(ドル安誘導協調介入)成立
平成3年 (1991)	3月27日 デイサービスセンター 以和貴苑 開苑	1月 2月 6月 <b>9月</b> 12月	皇太子立太子礼挙行 雲仙普賢岳の異状噴火始まる 九州新幹線鹿児島ルート起工式
平成5年 (1993)	4月1日 在宅分譲支援センター 開苑 7月1日 ホームヘルパー運営事業 開苑	6月 7月 8月 12月	とご成婚 姶良地区を中心に県央部に豪雨災害
平成13年 (2001)	8月9日 老人グループホーム けやき 開苑	9月	中央省庁再編(1府12省庁)発足 「情報公開法」「家電リサイクル法」 など施行 米国で同時多発テロ、世界貿易セ ンタービル倒壊、死者行方不明 6,962人 霧島市で第25回全国育樹会
平成15年 (2003)	10月1日 デイサービスセンターさくら通 開苑	3月 7月 11月	九州各地で集中豪雨、死者23人

年号	法人の動き		一般社会の動き
平成17年 (2005)	2月1日 老人グループホームさくら通 開苑 4月1日 生活支援ハウスさくら通 開苑	1月 3月 7月 9月 11月	児島実業が初の単独優勝 愛知万博(愛・地球博)開幕 ロンドンで大規模な同時多発テロ
平成21年 (2009)	4月1日 介護付有料老人ホーム秋桜苑 開苑 8月1日 訪問看護員養成事業 開始	1月	天皇陛下即位20年 オバマ氏がアメリカ合衆国大統領 に就任。10月ノーベル平和賞受賞 裁判員制度スタート。9月、東京 地方裁判所で全国初の裁判員裁判 が始まる
平成24年 (2012)	4月1日 住宅型有料老人ホーム年輪 開苑	3月 4月 5月 7月 <b>9月</b>	<ul><li>便就航</li><li>LCC ピーチ・アビエーションが鹿</li><li>児島ー関西空港に就航</li><li>東京スカイツリー完成</li><li>第30回ロンドンオリンピック開催</li></ul>
平成25年 (2013)	4月1日 小規模多機能型居宅介護事業所年輪 開苑		

### 編集後記

社会福祉法人以和貴会の創立30周年記念誌編集委員会を立ち上げ、ここに記念誌を無事刊行できたことを大変嬉しく思います。

法人設立の翌年、特別養護老人ホーム以和貴苑を開苑し、23名の職員でスタート した以和貴会ですが、現在では12事業所、総職員数160名以上となりました。

記念誌発行にあたり、この30年を振り返ると、利用者の皆様やご家族、地域の皆様、役職員のご協力やご支援があって、これまで順調に事業運営が行えたのだと改めて実感いたしました。

30年の間に介護保険制度施行など高齢者を取り巻く環境は大きく変化し、現在も様々な課題を抱えています。諸先輩方がその時々のニーズに合わせ、高齢者が住みなれた地域の中で安心して過ごせるよう尽力してきたように、私達も高齢者の幸せを一番に考え、日々努力していかなくてならないと強く感じました。

最後に、ご寄稿、ご協力下さった方々に厚くお礼申し上げます。

平成26年10月吉日

創立30周年記念誌編集委員会委員一同

### 以和貴会30周年記念誌

2014(平成26)年10月

社会福祉法人 以和貴会

発行/以和貴会創立30周年記念誌編集委員会 鹿児島県鹿屋市串良町細山田5902-3 TEL(0994)62-2430 FAX(0994)62-4078

制作/南日本新聞開発センター